

「Retail Security and Loss Prevention」 を翻訳して学んだこと

エイジスリテイルサポート研究所
近江 元（おうみ はじめ）

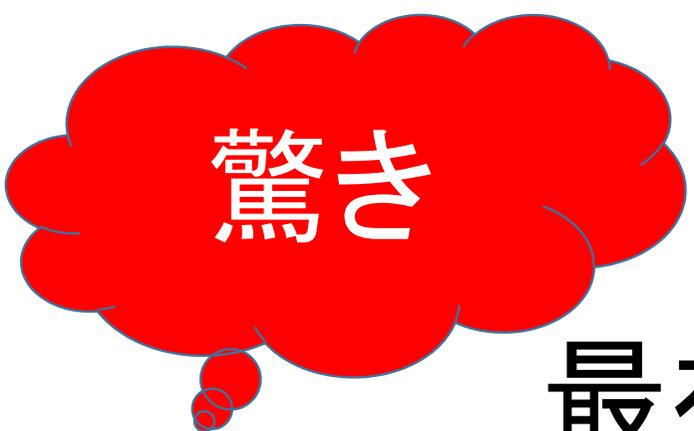
プリベンション＝予防すること

- 小売業のセキュリティ対策は予防的であり、事後対策であってはならない。

- ① リスクを特定し(現状を把握)
- ② 優先順位をつけ
- ③ 総合的な費用対効果を考慮した管理計画を立案し
- ④ 実行し
- ⑤ 効果を測定する

ウォルマートのスローガン 「Drive to 75」

- 長期的なスローガンであり目標である
- 継続的に組織的に経営問題として取り組む。
- 社内各階層で共有されている。



驚き

最初の章が「従業員の不正」

- 日本の小売業へのアンケート調査では万引が過半を占める
- グローバルな調査では、外部窃盗と内部不正がほぼ同じ

経営課題としてのロスプリベンションの視点

過去、日本国内で総合的・体系的にロスプリベンションについて書かれた本はほとんどない。

組織化された小売企業（チェーンストア）のための理論体系は日本では普及していない。



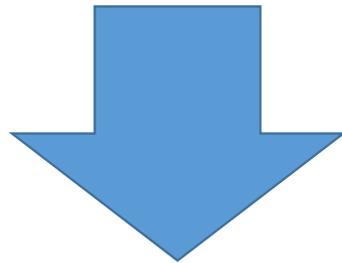
藪下雅治著 棚卸し実務とロス退治
(実務教育出版)昭和52年改訂初版発行

日本の状況は？

- 緊急対策はとるが一過性の反応におわってしまいがち
- 経営者の問題意識の低さ
- 専任部署がない企業が大半
- 体系的な調査研究が少ない
- 過去の記録が保存されていない

ロスプリベンションのこれから

- 経営者、管理者、現場の従業員、それぞれの役割を明確にし、情報を共有して、組織的なロスプリベンション活動を推進



そのためにやるべきことは

- この本を基礎として、ロスプリベンションの啓蒙教育活動を進める
 - セミナー、研修会の開催
 - 教育制度、教育ツール・研修プログラムの開発
 - 将来は資格試験制度も視野に（米国に先例あり）